

【グローバル人材の育成】

- (1) 別添の資料から、グローバル社会で活躍できる若者を東京から輩出するために、あなたが重要であると考ええる課題を 200 字程度で簡潔に述べよ。
- (2) (1) で述べた課題に対し、都はどのような取組みを進めるべきか、あなたの考えを述べよ。

【答案例】

(1) 課題

近年、グローバル化が加速し、わが国においてもグローバル人材の育成が求められている。しかし、資料 1 によると、平成 29 年に文部科学省が実施した高校 3 年生の英語力調査では、「聞く」「読む」「話す」「書く」の 4 技能すべてが目標数値には達していない。また、資料 2 からは、環境問題などの国際的な課題に対し、日本の若者の問題意識が低下している事実が読み取れる。以上から、グローバル社会で活躍できる若者を東京から輩出するために重要となる課題は、「**実践的な英語力の向上**」と「**若者の国際課題に対する意識の醸成**」の 2 点であると考ええる。

(2) では、上記課題に対して、都はどのような取組みを進めていくべきか。

第一に取り組むべき課題は、「**実践的な英語力の向上**」である。思うに、従来わが国の英語教育は、机上での英単語や文法の学習が中心であり、外国人との交流機会は少なく、「生きた英語」を学ぶ事は難しい状況にあった。また、従来から日本人は、相手に自分の考えを「伝える能力」が不足しているといわれており、こうした状況ではグローバルに活躍する事は困難である。そこで都は、幼少期から、コミュニケーション中心の英語教育を導入する必要がある。これに関して都は、若者と外国人との交流機会を増やすべく、「**英語村**」の事業に取り組んでいる。これは、小中高の生徒が英語しか使えない環境に身を置き、外国人との交流を通して、「生きた英語」を習得するという取組みである。また、多様な文化を持つ世界中の人とコミュニケーションがとれるため、自分の意見を「伝える能力」も向上させることができる。都は、この事業を着実に進めることで、国際社会で活躍できる人材を育成していくべきである。また、実践的な英語力を向上させるには、海外留学は極めて重要である。よって、都は、若者の海外留学を積極的に支援していくべきである。これに関して都は、「**次世代リーダー育成道場**」を実施している。これは、国内での事前研